地方行政 令和5年5月号

地方行政

2023年(令和5年)
5月22日[月]
第11213号

ビジョンを生かしたまちづくり 「選ばれる山形市」を目指して

佐藤 孝弘 山形市長

昨今、長引くコロナ禍やエネルギー・原材料価格の高騰などで、地域経済や市民生活は厳しい状況が続いてきましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが「5類」に引き下げられ、全国的にも社会経済活動を本格化させていく「再起動の年」になります。そのような中、山形市は「健康医療先進都市」および「文化創造都市」を、まちづくりにおける二大ビジョンに掲げ、各種施策を推進しております。

昨年は障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちが共に遊べる屋内型児童遊戯施設「シェルターインクルーシブプレイス コパル」、文化創造都市としての活動拠点「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」など、戦略的拠点施設を次々とオープンいたしました。さらに今年12月には、山形の魅力を発信し、人の流れを生み出すことをコンセプトとした道の駅「(仮称)やまがた蔵王」もオープンします。

これらの施設を連携させ、有効活用しながら、「新たな価値の創造」を推進するとともに、「教育情報化の推進による未来を担う人材の育成」、さらには「持続可能な地域公共交通の形成」に取り組むことで、地域の魅力向上と地域課題の解決を促進し、市民生活や地域経済をより飛躍させる年にしていきたいと思います。

また山形市は、2022年に総務省「家計調査」のラーメン消費額で日本一になったことを受け、今年2月に市内ラーメン店の店主の皆さまと共に「ラーメンの聖地、山形市」を宣言したところであり、ラーメン文化の魅力発信などによる誘客と、消費喚起の促進による地域経済の活性化にも取り組んでおります。

そのほか、国や県、近隣の市町村と連携強化を図り、山形連携中枢都市圏の中枢都市として、連携市町の都市機能の受け皿となるよう、さらなる都市機能の充実を図り、「選ばれる山形市」を目指し、都市ブランド力の向上と持続可能なまちづくりを進めてまいります。

目次

連載 ―― 2
女性職員の管理職昇任意欲 その形成過程を巡る一考察② したい理由、したくない理由とは? ―先行調査・研究の検証―
生成AI、利用は事前報告 ―― 6
トピックス ―― 7
総務省 コロナ対応、出向経験生きた
人事院 4年ぶりに自治体研修
月曜連載 ―― 8
縮退社会における都市経営 ――官民共創リポート⑳―― 何よりも「人の幸せ」を最優先に 片岡聡一・岡山県総社市長インタビュー(後編)
行政EXPRESS ―― 12
霞が関かいわい ―― 12
一家言 ―― 13
月曜隔週連載 ―― 14
「日本苦情白書」から見える行政職員㉙ 「住民は弱い立場にある」ことを忘れずに
連載 ―― 16
日本総研 地方政策Watch㊹ ユニバーサルツーリズムの現状と課題
議政ウオッチング ―― 18
4月の公募地方債発行条件 ―― 19
点描・永田町 ―― 20
「立民VS維新」の野党第1党争い

時事通信社

月曜隔週連載 「日本苦情白書」から見える行政職員 ㉙

「住民は弱い立場にある」ことを忘れずに

単純ミスで患者を待たせてしまった歯科医院

「そこに行くしかない」行政